

SSKS

VOL.126

結の実通信126号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長 難波 英勝

昨年来のコロナ禍で、日常生活が大きく変化してしまいましたが、皆様お変わりございませんか。

「三密」を避けることから始まり、マスクの着用や手洗いの徹底等、国や東京都が指導を行いました。感染患者数の増加に伴い昨年4月には「緊急事態宣言」が発出され、ステイホーム、テレワークや夜間の外出禁止等が実施された結果、大きな成果が得られ、5月には予定通り解除となりました。

ところが残念なことに、第二波、第三波が押し寄せ、2回目の緊急事態宣言発出前夜の今年の1月7日には、東京都の1日の新規感染者数が2,447人と過去最多となりました。

最初の緊急事態宣言が発出された、2020年4月7日の東京都の新規感染者数は87人でしたが、私たちは感染の恐怖に怯え、報道によると街は閑散として静まりかえり、通勤電車もガラガラだったとのことでした。新型コロナウイルス感染症との戦いが1年以上になり、緊張感が薄れてしまったのでしょうか、2回目の緊急事態宣言下では、新規感染者数の減少が鈍化し、2月の時点で1カ月

の延長となり、首都圏の1都3県では、3月21日まで再度2週間の延長となりました。

グループホームは、支援の関係上、蜜を避けることは不可能です。職員は常にマスクや手洗い等の基本動作を徹底し、現時点でも感染の報告は一切ありません。利用者・ご家族・職員・関係各位のご協力に、本当に感謝いたします。

コロナワクチンの予防接種が、医療関係者から始まりましたが、一日も早い全員接種と特効薬の完成を願うばかりです。

あと一踏ん張り、皆様この難局を乗り越えましょう。

2021年度通常総会について

会員の皆様においては、日頃よりのご支援ありがとうございます。理事長挨拶にもあった通り、あと一踏ん張りの努力が必要なことを踏まえ、昨年度に引き続き、2021年度通常総会も、密を避け、書面上の採決を行う形にしたいと考えています。

総会開催を予定している6月には、緊急事態宣言は解除されているかもしれませんが、しかし、変異株の流行が懸念される中、感染を防ぐためにも慎重な対応をとりたいと思います。重い持病を抱えた入居者もおり、日頃より、外出制限を行う、職員を通じての感染防止対策を取るなどの対策を取っています。どうぞ、皆様ご理解のほどよろしくお願い致します。また、皆様どうぞお身体ご自愛ください。

法人目的

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

あまーいデザートのはなし

コロナの話が多くなりがちですが、ホーム・ゆいの入居者たちが楽しみにしているあまーいデザートの話をしたと思います。

普段は、食事量やメニューに気を使っていますが、お休みの日の昼食時や季節のイベントなど、甘いデザートが出る日があり、皆さんとても楽しみにしています。最近出されたデザートは3月3日ひな祭りのケーキです。ゆっくり味わって食べる人、ニッコリ笑顔で食べる人、あっという間に食べ終わってしまう人、食べ方にも個性が現れます。

誕生会でケーキを食べ、バレンタインでチョコレートを食べ、お休みの日にプリンを食べたり、甘酒を飲んだり、いただいたシュークリーム、お仕事先から持ち帰ったお菓子やクッキー・・・女子のホームでは甘い話題が皆大好きです。



入居者のNさんは、甘いお菓子の本を持っていて、デザートを食べた日も、食べられなかった日も、その本をよく眺めています。新年に書いた書き初めにも「チョコレート食べたい」と書いてありました。クリスマスプレゼントでもらった一口チョコを毎日お仕事から帰った後で皆に内緒で味わっていました。

入居者のMさんは、いつも、デザートは何かスタッフに確認して、他の入居者に教えてくれています。お土産をいただいたり、デザートを買ってきたスタッフにも「ありがとう」と気持ちの良いお礼を言ってくれます。食べ終わった後には「おいしかったー」といろいろな人に報告をしてくれるのを見ると、次は何を用意しようかな？と迷ってしまいます。

入居者のSさんも甘いものが大好き。デザートが出てくるとテンションがあがります。彼女はコーヒーも大好きで、「コーヒー」の話題が出てくると、椅子に座っていても、さっと立ち上がってこちらを見つめています。

デザートのはなしの続き～ホーム・まなの場合

ホーム・ゆいでは、みな甘いデザートが大好きという話をしましたが、男性ホームである、ホーム・まなはどうか、様子をお伝えしたいと思います。

入居者のTさんは、おやつや食後のデザートが楽しみで、お仕事から帰ってくると、真っ先に冷蔵庫の中身をチェックしようとしています。手を洗ってからと声をかけられると、あわてて手を洗いに行っています。苦手なおかずも多いTさんですが、食後にヨーグルトやフルーツなどデザートがあるとわかると頑張ってお腹いっぱい食べています。

入居者のYさんは、デザートも好きですが、夕食後のビールが好きでとても楽しみにしています。まなとゆい合わせて、お酒飲んでいるのはYさんだけです。他の人に冗談で進めても「ダメー」と答えが返って来たりするのですが、Yさんは一人おいしそうに飲んでいます。そろそろビールの時間になると、スタッフに視線が注がれ飲み終わるとぐっすり眠っています。



入居者のIさんはラーメンなど食べ物の本を読むのが大好きです。「ラーメン好き？」と声かけると「うん」と答えが返ってきます。Iさんは甘いものも好きですが、朝食後の定番はブラックコーヒーです。他の人が朝でドタバタしている中、自分は早くに出発準備を終わらせて優雅にコーヒーを楽しんでいます。

入居者のNさんは食べるのが早く、いつも一番に食べ終わっています。彼には色々ルーティンがあって、夕食後には自分の牛乳パックを取り出して、コップに注いでおいしそうに飲んでいます。朝はヤクルト（毎週まなにヤクルトさんが販売に来てくださいます）を飲んでから活動が始まっています。

残念ながら全員の紹介はできませんでしたが、このような感じでまなの入居者は男性ホームらしく？それぞれの個性を出して、ホーム・まなでの食生活を楽しんでいる様子です。

サービス管理責任者更新研修受講報告

平成31年度にサービス管理責任者研修の見直しが行われ、5年毎に更新研修を受講することが、サービス管理責任者に義務付けられました。そのため2月3日に更新研修を受講してきました。

講義は動画視聴に、演習はグループワークではなく個人ワークと、徹底した感染予防対策の中での研修となりました。

研修では「関係機関との連携」「事業所としての自己検証」「サービス管理責任者としての自己検証」を学び、新たな気づきや不足している部分、他の事業所でも同じ課題があるんだなど、学ぶことの多い研修となりました。

研修で学んだことを日々の業務に活かしていければと思います。

サービス管理責任者 佐藤ひかり

グループホームにおけるゾーニング

先日テレビで、栃木県にある障害者施設で新型コロナウイルスのクラスターが発生したニュースを放映していました。感染者とそうでない入居者のゾーニング（区分け）を行ったが、感染した入居者がそのことを理解できず、自分の居室に戻ろうとしたために感染が広がってしまったということでした。

この施設の抱えている課題は、そのままホーム・まな、ゆいに当てはまると感じています。まな、ゆいにはマスクのできない方、一人では過ごすことが出来ない方、居室で静かにしていることが難しい方が何人もいます。帰る場所のない方もいらっしゃいます。感染症のマニュアルでは、まずは感染しないための予防策、万が一感染した方が出た場合は自室で過ごせる方は自室でとなっていますが、一人で自室に入れられない方が感染した場合の対応は、身体拘束との兼ね合いも出てきます。現状では、感染してない入居者が自室で過ごすなど、対応に限界があるのも事実です。さらに、職員にも重症化するリスクや家族に感染させる恐怖と闘いながら支援を引き受けることを強制はできません。現体制では、ゾーニングの徹底ができない前提で考えていく必要があると思います。

栃木県の施設では、行政が医師や看護師を派遣する等支援体制を取っているようでした。まな、ゆいでも自分たちだけで抱え込むのではなく、現実的な課題に対して、支援してくださる方々と共有して、今後の対策を考えていきたいと思っています。

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費 2000円

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

- * 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。
- * 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。



寄付 6名 （2020年7月11日～2021年3月13日）

榎本啓子 桑原靖 株式会社千葉電設 藤田浩子 明滝光子 難波道子

2020年度 更新会員 71名 （2020年7月11日～2021年3月13日）

桑原直也 桑原靖 桑原光代 廣瀬礼子

2020年度 新規会員 3名 （2020年7月11日～2021年3月13日）

桑原利幸

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

事務局からのお知らせ

- ☆ 2020年度第2回理事会が2020年11月28日に開催されました。
- ① 2020年度上半期会計報告案
 - ② 2020年度第1次補正予算案
 - ③ 職員評価制度導入に伴う人事考課規定について
- ① の議題に関して承認されました。
 - ② の議題に関して承認されました。
 - ③ の議題に関して承認されました。
- ※2020年度理事会開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初の開催予定計画を大幅に変更し、計3回の開催となる予定です。
- ☆ 2020年度上半期に、特定非営利活動法人医療・介護情報ネットワークと契約を締結し、福祉サービス第3者評価を受審しました。受審結果に関しては、公開されているので、ホームページ等でご確認ください。
- ☆ 2020年度上半期法人監査（会計監査、業務監査）が2021年1月23日に行われました。
- 会計監査に関しては、活動計算書、貸借対照表、財産目録、帳簿等が適正であることが報告されました。
- 業務監査に関しては、以下の3点の業務改善に関する指摘を受けました。
- ・事故報告、ヒヤリハットに関して改善策を検討すること。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止策に関して厚労省指針に基づいたマニュアルの整備と対策チャートを作成すること。
 - ・職員研修に関して、新型コロナウイルスの影響で職員全体研修が上半期で来ていないことを踏まえ開催方法を工夫して下半期で開催すること

結の実通信 126号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : yuinomi@star.ocn.ne.jp

ホームページ <http://yuinomi.com>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円